

玉野市が2市2町「合併政令市」から離脱

岡山県南政令市構想合併協議会を解散し、構想を白紙に戻せ！

市民団体が岡山市に申し入れ

拙速 萩原市長 一市二町の合併急ぐ 灘崎・御津二町に法定協、要請

二月二十五日玉野市の山根市長は、岡山、玉野、御津、灘崎の四市町による県南政令市構想から「玉野市は離脱する」と表明しました。ついに、三月定例市議会に法定協議会設置議案を提案せず、合併特例法の期限(来年三月末)内の政令市移行を断念。「市民の気持が急激に変わることはない」として六月定例会への提案も見送ることになりました。

この事態を受け、「県南政令市構想を白紙に戻し、同協議会を解散せよ。」と二六日には、市民団体が岡山市に申し入れました。

しかし、萩原岡山市長は前日、御津町、灘崎町に対して“法定協”、立ち上げを要請していたのです。萩原市長は一体何故こんなに合併を急いでいるのでしょうか。

町民のためのキラリと輝く町づくりを！ 御津町

岡山市北部及び御津町はなだらかな丘陵地帯で、とても自然景観の美しいところです。

ところが、近年、御津町と隣接する足守地区の方々から悲痛な声が聞こえてきます。それは、「足守町のままだったら産業廃棄物処理場建設をくいとめられていたのに、岡山市の端っこの町になったばかりに“産廃銀座”になってしまった」という嘆きの声です。

一方、御津町では、今、町ぐるみで「産廃処理場建設反対」の戦いが繰り広げられ、未だ建設をさせていません。

金川病院も種々の困難を抱えながらも公立病院の役割を果たそうとがんばっています。岡山市立吉備病院のように民間委譲をしようとの方針はだされていません。

御津町では、保育所も希望すれば誰でも入所できます。岡山市のように希望者が三百人以上も入れない事態とはなっていません。

このように“キラリと光る御津町”、づくりは今正念場を迎えています。

ハコもの行政を改め町民のための町づくりを！ 灘崎町

灘崎町は、児島湾の干拓により拓かれた広大な水田を有する全国有数の農業地帯です。近年、宅地開発が進み、人口が増えている地域で、合併によらず単独でも十分に今後の発展が期待できる地域です。下水道処理区も七区以外は完成済という状況で下水道普及率八七・一%と高い数値となっています。

岡山市の下水道普及率四三・六%と比べると雲泥の差です。

但し、問題点は、灘崎町総合福祉センター(ウェルポート灘崎)と総合スポーツ公園(現在建

設中)の建設費が約六十億円にもなり、今後の同町の財政に重い負担となることです。

今後、八コもの行政を行わず、町民の暮らしに目を向けて“つつましくも暖かい灘崎町づくり”を心がければこの状況は脱却できると考えられます。

借金が多いとはいっても、岡山市の借金額よりはるかに少ない額なのです。

玉野市民は賢明な判断をした！

山根市長は政令市構想からの離脱を決断した理由として「市内十四会場で開いた市民説明会では合併反対が大半を占めました。圧倒的な住民の声がかかる方向にかじを切らねばならない」と住民の反対の声を揚げましたが、この英断は高く評価できます。

玉野市民は「岡山市と合併すれば市民サービスが低下するのではないか？」との不安をまず第一にあげました。中でも、「葬祭費の無料化制度を存続してほしい」の願いは圧倒的玉野市民の声でした。萩原市長がどんなに「旧玉野市区域で存続する」と声高に叫んでも、岡山市民に対しては「おそまつな祭壇や棺桶でやっている葬式で、一件当たり二～三万円のもんだ」と玉野市民をバカにしたような発言をしていることを玉野市民はよく知っており、不信感はぬぐえませんでした。

また、救急車の現場到着の平均は岡山市が六・八分に対し、玉野市は四・四分と速く、行政サービスの差が明確です。

さらに、合併すれば単独よりも借金額が倍以上となることを考えれば玉野市民の判断は当然と言えるでしょう。

合併してどうなる？

一市二町の合併で未検討の財政シュミレーション

「単なる合併は意味が無い」 萩原岡山市長

「単なる合併は意味がない。政令市になるから意味があるんだ」

萩原市長が岡山市議会でも、市民説明会でもくり返しくりかえし言った言葉です。

このたび、玉野市が「岡山県南政令市」の枠組みからはずれたことにより人口要件七十万人以上にならず、政令市はできなくなりました。

にもかかわらず、萩原市長は、御津町、灘崎町に“法定合併協議会”立ち上げを要請し、合併しようと呼びかけています。

| 主要財政指標(平成 13 年度決算) | | | |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 区 分 | 岡山市 | 御津町 | 灘崎町 |
| 財政力指数 | 0.729 | 0.452 | 0.417 |
| 経常収支比率 | 87.1 | 79.9 | 81.8 |
| 公債費比率 | 20.2 | 16.0 | 11.6 |
| 起債制限比率 | 14.9 | 9.1 | 6.7 |

つまり、萩原市長は自分で認めた“意味のない合併”をしようと言っているのです。これほど無責任な事はありません。

任意協議会で示された財政シミュレーションや合併方式の検討は、政令市が前提となっています。法定協立上げの前に検討をやりなおさなければなりません、それさえやろうとしていません。

この合併が、本当に、灘崎町民、御津町民、岡山市民のためになるのかどうかの検証がまず必要ではないでしょうか。

岡山市の財政は赤信号の中を突っ走っていて、岡山市民1人当たり約50万円の借金があります(3,096億円)。

灘崎町 消防・救急はどうなる？

灘崎町の消防行政は玉野市に事務委託していますが、岡山市と合併すると岡山市消防になります。

すると灘崎町の火災発生件数(人口一万人あたり)六・二件と玉野市の二倍を超えている状況ですから、玉野市に委託している今よりも火災についての不安が増大します。なぜかといいますと、下の資料をご覧くださいますとよくわかるように、消防職員の数が玉野市・灘崎町は住民六百五二人に一人であるのに対し、岡山市は千二百五九人に一人と少ないからです。

救急の平均現場到着時間も岡山市の六・八分に対し、灘崎町は四・四分ですから現状より悪化して、“命”を縮めることにもつながり、また灘崎町の消防出張所も「リストラ」されては大変です。

| 消防体制(平成 14 年 4 月 1 日現在) | | | |
|-------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-----------------|
| 区分 | 岡山市 | 玉野市 | 灘崎町 |
| 消防署の状況 | 1 本部 4 消防署 10 出張所(御津町の 1 出張所を除く) | 1 本部 1 消防署 5 出張所(灘崎町の 1 出張所を含む) | 玉野市に事務委託(1 出張所) |
| 消防職員数 | 500 | 133 | |
| 対象人口 | 629,266 | 86,766(灘崎町 16,198 人含む) | |
| 職員 1 人当たりの人口 | 1,259 | 652 | |
| 職員 1 人当たりの面積 | 1.02k m ² | 1.01k m ² | |
| 署所 1 カ所当たりの人口 | 44,947 | 14,461 | |
| 署所 1 カ所当たりの面積 | 36.66k m ² | 22.40k m ² | |
| 人口 1 人当たりの消防費 | 9,831 円 | 18,313 円 | |
| 予算[平成 14 年度当初] | 岡山市予算 / 岡山市人口 | (玉野市予算+灘崎町予算) / (玉野市人口+灘崎町人口) | |

御津町 役場はどうなる

御津町の職員数は約二百人で町民の暮らしを支え、地域経済に貢献しています。

岡山市と合併すると住民の暮らしや役場はどう変わるのでしょうか。

報告では合併効果として、職員をリストラして経費をうかすといっています。現在の岡山市で以前合併した町村の支所をみてもみますと、人口一万人規模の支所の職員は五人から多くて十人です。となれば、御津町の経済ダウンはさげられません。また、町民の代表としての議員は一人又はゼロですから町民の声を届けるために議会で奮闘する力は極めて弱くなってしまいます。

御津町を岡山市の北の端っこの光のあたらない町にしてしまってもいいのでしょうか。

| 合併による削減効果 2市2町で 350人(90億円) | | | |
|-----------------------------|---------|--------|----------|
| 職員数の削減 実人員等 (単位:人) | | | |
| 区分 | 岡山市 | 御津町 | 備考 |
| 実 人 員 | 5,989 | 204 | H14.4.1 |
| 住民基本台帳人口 | 621,809 | 10,500 | H14.3.31 |
| 職員 1 人当たり住基人口 | 103.8 | 51.5 | |
| 実人員の部局別内訳 (単位:人) | | | |
| 区 分 | 岡山 | 御津町 | |
| 首 長 部 局 | 3,396 | 120 | |
| 水 道 事 業 | 398 | 5 | |
| 病 院 事 業 | 497 | 52 | |
| 市 場 事 業 | 26 | | |
| 消 防 | 522 | | |
| 議 会 事 務 局 | 33 | 1 | |
| 選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 | 14 | | |
| 監 査 事 務 局 | 12 | | |
| 教 育 委 員 会 事 務 局 | 16 | | |

財政規模は大きいが市民サービスが悪い岡山市

岡山市の一般会計予算は約二千一百億円で、御津町の五二億円、灘崎町の六四億円と比べてケタ違いの大きさです。

しかし、乳幼児医療費無料化の年令を比べてみますと、御津は就学前まで、灘崎は四才まで実施しているのに対して岡山市は二才までしかやっていません。

高齢者にやさしい御津町・灘崎町

老人医療費の助成制度をみると、灘崎町などには町独自の制度があります。

岡山市の老人医療費助成の状況を平成十三年度の資料でみると受領者が九百四十二人で高齢者全体に占める対象者比率はわずか 一・八六%。ところが御津町は三五・二%、灘崎町は二二・三%です。つまり百人の高齢者がいれば、岡山市では一人、御津町では三五人、灘崎町では二二人が医療費助成を受けられるということになります。この格差の理由は、岡山市が県制度に準拠しているだけなのに対して、灘崎町は身体障害者手帳四級に該当している人や国の制度に該当しない六九才の方を町独自で対象にしているからです。(岡山市当局説明)

岡山市の住民サービスが悪いのは、両備バスのマンションに十数億円の補助金を出したり、岡山駅西開発や岡山操車場跡地などの大規模開発に二千億円を超える税金をつぎこむなどのために、生じた借金払いが大きいことが原因です。岡山市の税金の使い方がおかしいのです。